

令和7年度 社会科 歴史的分野 <第3学年> 年間指導計画と評価規準

社会科の目標

社会的な見方・考え方を働きかせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようとする。

(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵（かん）養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自國を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

社会科 歴史的分野 第3学年の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働きかせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

(1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようとする。

(2) 歴史に関する事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵（かん）養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとしてることの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

第3学年年間指導計画(評価規準)

★ 知は、知識・技能 思は、思考・判断・表現 主は、主体的に学習に取り組む態度

| 月 | 単元名 | 指導内容 | 評価規準 | 評価方法 |
|---|---|--|--|------------------------|
| 4 | 第2節 開国と幕府の終わり ◇節の問い合わせ 欧米諸国が来航するなかで、人々はどうのような対応をしていたのだろうか。 | ○欧米諸国のアジア進出と関連づけて取り扱い、アヘン戦争後に幕府が対外政策を転換して開国したことと、その政治的および社会的な影響を理解させ、それが明治維新の動きを生み出したことに気づかせる。 | 知 欧米諸国のアジア進出による中国の動き、日本の開国と貿易の開始による政治的、経済的、社会的な影響を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 | ノートの記述 定期考査 授業観察 |
| | | | 思 工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、欧米諸国の市場や原料供給地を求めるアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 | ノートの記述 定期考査 授業観察 |
| | | | 主 欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 | ノートの記述 定期考査 授業観察 |
| 4 | 第3節 明治政府による「近代化」の始まり ◇節の問い合わせ 明治政府はどのような国づくりを行ったのだろうか。 | ○明治維新について、富国強兵・殖産興業政策の下に新政府が行った、廢藩置県、学制・兵制・税制の改革、身分制度の廃止、領土の画定を取りあげ、今日につながる諸制度がつくられたこと、欧米諸国の影響で、人々の生活が大きく変化したことに気づかせる。 | 知 富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などをもとに、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 | ノートの記述 定期考査 授業観察 |
| | | | 思 明治政府の諸改革の目的に着目して、諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響を考察したり、明治維新について、近世の政治や社会との違いに着目して、近世から近代への転換のようすを考察したりするなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 | ノートの記述 定期考査 授業観察 |
| | | | 主 明治維新と近代国家の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 | ノートの記述 定期考査 授業観察 |
| 5 | 第4節 近代国家への歩み ◇節の問い合わせ 日本の「近代国家」の建設は、どのようになされたのだろうか。 | ○自由民権運動の全国的な広まり、政党の結成、憲法の制定過程とその内容の特徴を取り上げ、大日本帝国憲法の制定によって立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことの歴史とその意義や意義。 | 知 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定をもとに、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 | ノートの記述 定期考査 授業観察 |
| | | | 思 議会政治や政治の展開に着目して、世界との関係や、現代の政治とのつながりを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 | ノートの記述 定期考査 授業観察 |

| | | | |
|--|---|--|------------------------|
| ろうか。 | 政治とのつながりに気づかせる。 | 議会政治の始まりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 | ノートの記述 定期考査 授業観察 |
| 5 第5節 帝国主義と日本 ◇節の問い合わせ 「近代国家」日本は、世界でどのような動きをしていったのだろうか。 | ○歐米諸国と対等の外交関係を樹立するための長年の努力の過程で条約改正が実現したこと、大陸との関係を中心として、日清・日露戦争にいたるまでの日本の動き、戦争のあらましと国内外の反応、韓国の植民地化などを取り上げ、日本の国際的地位が向上したことを理解させる。 | <p>知 約改正、日清・日露戦争などをもとに、日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>思 外交や戦争の展開に着目して、世界との関係や現代の政治とのつながりを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>主 國際社会との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> | ノートの記述 定期考査 授業観察 |
| 第6節 アジアの強国の光と影 ◇節の問い合わせ 「近代化」によって、日本の産業や社会はどのように変化したのだろうか。 | ○富国強兵・殖産興業政策の下、近代産業が日清戦争前後から飛躍的に発展して、資本主義経済の基礎がたまたましたこと、都市や農山漁村の生活に大きな変化が生じたこと、労働問題や社会問題が発生したこと 伝統的な | <p>知 日本の産業革命とこの時期の國民主義の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などをもとに、日本で近代産業が発達し、近代文化が形成されたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>思 近代化がもたらした文化への影響に着目して、産業の発展が国民生活や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>主 近代産業の発達と近代文化の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> | ノートの記述 定期考査 授業観察 |